

# 令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	73	消防団運営管理事業							
	この事務事業 の位置		政策		安全で安心して暮らせるまち							
			施策		地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう							
			基本事業		消防							
	主管課名		防災安全課			課長名	林 幸男					
	この事務事業の開始時期			昭和23年		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令			消防組織法								
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	消防団の運営管理に必要な費用 ・人件費（報酬、退職報償金、公務災害負担金） ・災害時出動・訓練手当 ・資機材の整備（被服含む） ・分団及び女性消防団運営費交付金 ・条約定数413名					消防組織法に基づき、昭和23年から消防団を組織し、市内の防火・防災体制を作った。常備消防の充実のため、消防団の活動は火消しではなく後方支援となった。しかし、災害対応については、戦力であり、今後も消防団の充実を図る必要がある。平成23年度に学生による機能別消防団を設置。						
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			消防団活動に必要な被服の貸与、団員報酬や出動・訓練手当の支払い、各種研修等を実施した。 団員が行う防火教室、防災教室、団員加入促進事業を実施した。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	対象に変化がないため、継続して実施				名称		単位					
					① 消防団分団数		団					
					②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
消防団員					名称		単位					
					① 実団員数		人					
					②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
防火活動、防災活動、水防活動が速やかにできる					名称		単位					
					① 訓練参加延べ人数		人					
					②							
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
市民の生命と財産を守る					名称		単位					
					① 実団員数		人					
					② 火災発生件数		件					
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 団			15	15	15	15	15			
		②										
(2)の 対象指標		① 人			329	330	330	335	335			
		②										
(3)の 成果指標		① 人			7,991	7,500	7,500	7,500	7,500			
		②										
(4)の結果の 成果指標		① 人			329	330	330	335	335			
		② 件			20	25	25	25	25			
予算費目		会計	01 一般会計				款	09	項	01	目	01
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	0	0	51,312	61,882	67,238	67,670	68,264			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	244	154	110	110	110			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	19,231	26,135	25,906	25,906	26,145			
	一般財源	千円	0	0	31,837	35,593	41,222	41,654	42,009			
人件費B		千円	0	0	5,213	49,471.2	5,472	5,472	5,472			
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	290×5	2,909×5	290×5	290×5	290×5			
正職員以外の人件費		千円	0	0	341	600	600	600	600			
その他の費用C		千円	0	0	611	611	611	509	509			
トータルコストA+B+C		千円	0	0	57,136	111,964.2	73,321	73,651	74,245			
単位あたりコスト		① 千円/人	0	0	173.7	339.3	222.2	219.9	221.6			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	73	消防団運営管理事業
-------	-----	----	-----------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	市の安全安心のために必要な事業で、市民の安全安心のために寄与している。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	その理由	環境の変化によって対象を見直す必要はない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	その理由	環境の変化によって目的を見直す必要はない。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	多種多様な災害に対応するため消防署と連携し、対応できる訓練を実施する。	
	目的達成状況	内容	達成している。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 消防団は市の組織である。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	効率化は団員の減少に繋がる可能性があるため、効率化しない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	団員の報酬が近隣、全国と比較すると少ないため、人件費は削減ではなく、増加させなければならない。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	直接的な受益者はなし

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	団員報酬が低い。 地方交付税の算定基準額に近づける必要がある（近隣市町はほぼ地方交付税の算定基準額）。 消防団員数が減少している。	対応策	団員報酬については調査検討中 令和3年に見直し・検討を行う。 団員数の減少に歯止めをかけるまた将来的なことを考えた加入促進啓発をする。
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	消防団運営に係る事業を実施した。	変更・追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性		今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 分団員数や管轄区域など、消防組織の見直しや強化策を策定していく。 消防団の装備の基準が改正され、安全確保対策、救助用器具、情報通信機器等の整備について一層の充実を図る必要がある。 また、費用弁償が近隣の市と比べ低かったため、平成27年度に見直しを行った。ただし、団員報酬についても近隣と比べ低いため、今後、検討していく必要がある。		
コストの方向性		→ 維持			
成果の方向性		→ 維持			

# 令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名	No.	74	消防団車両運営管理事業							
	この事務事業 の位置	政策	安全で安心して暮らせるまち								
		施策	地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう								
		基本事業	消防								
	主管課名	防災安全課			課長名	林 幸男					
	この事務事業の開始時期	昭和23年			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令	消防組織法									
	事業の概要	消防車両、消防用ポンプの更新、維持管理を行う。			現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由 昭和23年の消防組織法施行により非常備消防である消防団が各地で組織された。 常備消防のみでは消防防火活動に限界があり、消防力の強化を図るためにも地域の消防団は欠かせない存在となっており、消火活動を行うための消防車両の整備が必要である。						
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等	消防車両の燃料費や点検・修理代等、車両、ポンプの維持管理にかかる費用を支払った。 三好上分団、高嶺分団車両の更新した。									
	事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか	大きく変化していない			(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）						
変 化 内 容				名称		単位					
				① 消防団車両数			台				
対象(この事業の対象、範囲となる人、物) 消防団車両（ポンプ含む）				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
				名称		単位					
				① 車両点検回数			回				
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) 車両、ポンプの管理、運行				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
				名称		単位					
				① 車両の修理回数			回				
結果(上位基本事業の意図) 生命と財産を守る				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
				名称		単位					
				① 実団員数			人				
② 火災発生件数						件					
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 台			15	15	15	15	15			
	②										
(2)の 対象指標	① 回			27	28	28	28	28			
	② 回			27	27	27	27	27			
(3)の 成果指標	① 回			0	2	2	2	2			
	② 回			0	2	2	2	2			
(4)の結果の 成果指標	① 人			329	330	330	330	330			
	② 件			20	25	25	25	25			
予算費目	会計	01 一般会計				款	09	項	01	目	01
コスト	年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A	単位	0	0	22,001	24,014	24,458	27,010	24,312			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	1,798	1,797	1,797	1,797			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	709	1	200	200	200		
	一般財源	千円	0	0	21,292	22,215	22,461	25,013	22,315		
人件費 B	千円	0	0	2,016	2,016	2,016	2,016	2,016			
正職員従事時間×人数	時間×人	0×0	0×0	150×4	150×4	150×4	150×4	150×4			
正職員以外の人件費	千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用 C	千円	0	0	204	204	204	204	204			
トータルコスト A+B+C	千円	0	0	24,221	26,234	26,678	29,230	26,532			
単位あたりコスト ①	千円/回	0	0	897.1	936.9	952.8	1,043.9	947.6			
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②	千円/回	0	0	897.1	971.6	988.1	1,082.6	982.7			

事務事業名	No.	74	消防団車両運営管理事業
-------	-----	----	-------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	消防団員にとって車両、ポンプの整備は基本であるため、この事業は必要である。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	環境の変化でこの事業の対象は見直さない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	環境の変化でこの事業の目的は見直さない。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	業者だけではなく、団員自らも点検を行う。	
	目的達成状況	内容	達成している。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 消防団は市の組織である。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	統廃合できる事業がない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	事業費を削減すると消防力を低下させるおそれがある。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	直接的な受益者はなし。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	ポンプの故障が多い。	対応策	保守点検を行い故障時には即座に対応する。
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	消防車両の維持管理等を実施。三好上、高嶺両分団の車両を更新した。	変更追加	福田分団と打越分団の車両を更新する。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 車両については可搬小型消防用ポンプを積載した積載車とし、配備する。 車両は15年で更新する。			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止				
	コストの方向性	→ 維持			
	成果の方向性	→ 維持			

# 令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	75	市消防操法大会開催事業							
	この事務事業の位置		政策	安全で安心して暮らせるまち								
			施策	地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう								
			基本事業	消防								
	主管課名		防災安全課			課長名	林 幸男					
	この事務事業の開始時期		昭和23年			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		消防組織法									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	消防団員として消火活動に必要な技術の向上と士気の高揚を図ることを目的に、市操法大会を開催する。また、消防団の規律厳正な団体行動と平素練磨した消防技術を公開し、住民の防火意識の向上を図る。また、優勝分団においては県操法大会に出場する。					消防団組織を充実させ、消防力を強化するために小型ポンプ積載車、消防ポンプ自動車を配備して以来、市操法大会を開催している。操法大会を開催することで、日頃から消防技術を磨き、士気を高めることに繋がっている。火災発生時においては初期消火活動や常備消防の消防活動の後方支援を行える。						
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			消防団員の消防活動の基礎となる消火技術、消防資機材の基本操作、操作伝達方法等の集大成である消防操法訓練の成果を競う操法大会を開催した。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	ポンプ等の性能の差がある				名称		単位					
					①	消防団分団数（地域）		分団				
		②										
対象（この事業の対象、範囲となる人、物）					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
消防団					名称		単位					
		①	男性団員数（13分団）		人							
		②										
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
消火活動に必要な技術の向上を図る					名称		単位					
		①	操法訓練回数		回							
		②										
結果（上位基本事業の意図）					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
生命と財産を守る					名称		単位					
		①	実団員数		人							
		②	火災発生件数		件							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 分団			13	13	13	13	13			
		②										
(2)の 対象指標		① 人			260	265	265	270	270			
		②										
(3)の 成果指標		① 回			220	200	200	200	200			
		②										
(4)の結果の 成果指標		① 人			329	330	330	330	330			
		② 件			20	25	25	25	25			
予算費目		会計	01 一般会計				款	09	項	01	目	01
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費（決算又は予算額）A		単位	0	0	69	97	105	95	95			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	0	0	69	97	105	95	95			
人件費B		千円	0	0	906	956	956	956	956			
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	75×3	75×3	75×3	75×3	75×3			
正職員以外の人件費		千円	0	0	150	200	200	200	200			
その他の費用C		千円	0	0	204	102	102	102	102			
トータルコストA+B+C		千円	0	0	1,179	1,155	1,163	1,153	1,153			
単位あたりコスト ①		千円/人	0	0	4.5	4.4	4.4	4.3	4.3			
(トータルコスト/②)の対象指標		千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	75	市消防操法大会開催事業
-------	-----	----	-------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	火災時に対応できるような訓練を操法大会を通じて重ねているため、十分な成果が得られている。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	環境の変化でこの事業の対象を見直すものではない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	環境の変化でこの事業の目的を見直すものではない。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	限られた時間の中で訓練を行っているため、これ以上成果を向上させるのは難しい。	
	目的達成状況	内容	達成している。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 消防団は市の組織である。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	消防団員はほぼボランティアという立場であり、効率化を目指すものではない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	事業費自体が少額のため、削減は難しい。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	直接的な受益者はなし

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	ポンプの性能に差があるため、団員からの苦情がある。	対応策	分団長会議等で話し合い、最善の方法を考える。
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	操法大会を開催した。	変更追加	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 操法大会は市が主体となって開催しているが、常備消防であるみよし消防署に大会の一役を担ってもらい共同開催としている。 ポンプの取り扱い扱いは消防団員としては習得すべき事項の最も重要な一つであり、また消防団員の披露の場でもあるため、一般の方にも参観しやすいような大会にできるよう、様々な角度から検討する必要がある。 令和3年度から「出初・観閲式・任命式開催事業」と統合			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止				
	コストの方向性	→ 維持			
	成果の方向性	→ 維持			

# 令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	76	出初・観閲式・任命式開催事業							
	この事務事業 の位置		政策		安全で安心して暮らせるまち							
			施策		地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう							
			基本事業		消防							
	主管課名		防災安全課			課長名	林 幸男					
	この事務事業の開始時期			昭和23年		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令			消防組織法								
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	消防団の規律厳正な団体行動と平素練磨した消防技術を公開し、住民の防火意識の向上を図る。また、模範となる優秀な団員の表彰を行い、団員の士気の高揚を図る。					平成23年の東日本大震災での消防団の救助活動が広く知られ、地域の防火・防災を担う消防団に対する市民の期待は大きくなっている。消防団の存在意義を広く市民に理解してもらい、地域の防災の担い手として消防団を育成するためにも必要な事業である。						
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			消防団員の年頭の出初式、観閲式ならびに分団長以下の幹部、新入団員の任命式を実施した。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	特に変化していない				名称		単位					
					①	消防団分団数	分団					
				②								
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
消防団員					名称		単位					
				①	実団員数	人						
				②								
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
士気を高め、意識をもってもらおう					名称		単位					
				①	参加人数	人						
				②								
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
生命と財産を守る					名称		単位					
				①	実団員数	人						
				②	火災発生件数	件						
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 分団			15	15	15	15	15			
		②										
(2)の 対象指標		① 人			329	330	330	330	330			
		②										
(3)の 成果指標		① 人			166	180	180	180	180			
		②										
(4)の結果の 成果指標		① 人			329	330	330	330	330			
		② 件			20	25	25	25	25			
予算費目		会計	01 一般会計				款	09	項	01	目	01
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	0	0	69	114	122	112	112			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	0	0	69	114	122	112	112			
人件費 B		千円	0	0	996.7	1,046.7	1,046.7	1,046.7	1,046.7			
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	63×4	63×4	63×4	63×4	63×4			
正職員以外の人件費		千円	0	0	150	200	200	200	200			
その他の費用 C		千円	0	0	102	102	102	102	102			
トータルコスト A+B+C		千円	0	0	1,167.7	1,262.7	1,270.7	1,260.7	1,260.7			
単位あたりコスト ①		千円/人	0	0	3.5	3.8	3.9	3.8	3.8			
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②		千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	76	出初・観閲式・任命式開催事業
-------	-----	----	----------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	団員の士気高揚のために出初式等は必要である。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	対象を見直す必要はない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	目的を見直す必要はない。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	団員数を増加させ、また出初式には一般の方の参観も参観したくなるような行事にする。	
	目的達成状況	内容	達成している。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 消防団は市の組織である。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	他事業と統合させる事は可能であるが、成果が向上するとは思えない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	これ以上費用を削減できない。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	直接的な受益者はなし

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	特になし	対応策	特になし
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	出初、観閲式、任命式を開催。	変更 追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 今後も、消防団員が出席しやすい日程や時間での開催とし、行事参加者を増加させるとともに、より一層の団員確保に努めることが必要である。			
コストの方向性		→ 維持			
成果の方向性		→ 維持			



# 令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業の現状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	77	県消防操法大会出場事業							
	この事務事業の位置		政策	安全で安心して暮らせるまち								
			施策	地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう								
			基本事業	消防								
	主管課名		防災安全課			課長名	林 幸男					
	この事務事業の開始時期		平成22年			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		特になし									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	県内の各市町村を代表する消防団がポンプ自動車の部、小型ポンプの部で操法を競う愛知県消防操法大会に出場する分団に対する支援を行う。					代表分団に対して、県大会で好成績を収めてもらうためにも訓練や資機材等の支援する必要がある。						
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			市消防操法大会優勝分団（萌生分団）がみよし市代表として県操法大会に出場するにあたり、操法訓練を実施するための支援を行った。萌生分団においては県大会3位という素晴らしい成績を収めた。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	変化していない				名称		単位					
					①	県操法出場分団	分団					
					②							
対象（この事業の対象、範囲となる人、物） 分団（地域）					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
					名称		単位					
					①	分団数（地域）	分団					
					②							
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか） 出場または見学・応援することで、初期消火技術を向上してもらう					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
					名称		単位					
					①	操法訓練回数	回					
					②							
結果（上位基本事業の意図） 生命と財産を守る					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
					名称		単位					
					①	実団員数	人					
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 分団			1	1	1	1	1			
		②										
(2)の 対象指標		① 分団			13	13	13	13	13			
		②										
(3)の 成果指標		① 回			29	30	30	30	30			
		②										
(4)の結果の 成果指標		① 人			329	330	330	330	330			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	09	項	01	目	01
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費（決算又は予算額）A		単位	0	0	1,732	1,818	1,948	1,938	1,938			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	0	0	1,732	1,818	1,948	1,938	1,938			
人件費B		千円	0	0	1,923.3	1,973.3	1,973.3	1,973.3	1,973.3			
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	166×3	166×3	166×3	166×3	166×3			
正職員以外の人件費		千円	0	0	250	300	300	300	300			
その他の費用C		千円	0	0	916	611	611	611	611			
トータルコストA+B+C		千円	0	0	4,571.3	4,402.3	4,532.3	4,522.3	4,522.3			
単位あたりコスト		① 千円/分団	0	0	351.6	338.6	348.6	347.9	347.9			
(トータルコスト/②)の対象指標		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	77	県消防操法大会出場事業
-------	-----	----	-------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	県大会出場を目指す分団が増加し、ポンプ操作の技術が向上している。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	環境の変化によって対象を見直す事業ではない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	環境の変化によって目的を見直す事業ではない。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容		指導者との関係をより強固なものとする。
	目的達成状況	内容		達成している。
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営	消防団は市の組織
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容		統廃合することによって事業が停滞するおそれがある。
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容		事業費等を削減することによって事業が停滞するおそれがある。
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	直接的な受益者はなし。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	ポンプの性能によって成績が左右される。	対応策	最新のポンプを積載している車両よりポンプを借りて対応している。
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	県操法大会出場分団に対し、支援を行った。	変更追加	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 毎年開催される県大会に出場し、好成績を収めることは大きな意義があるが、団員や家族の負担も大きく、職場の理解も相当必要である。 また、どの分団も要員全てが揃っての練習が困難な状況の中で、市操法大会で優勝した分団に大きな負担がかかることから、出場分団の選出方法を検討する必要がある。			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止				
	コストの方向性	→ 維持			
	成果の方向性	→ 維持			

# 令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	78	消防施設維持事業						
	この事務事業 の位置		政策		安全で安心して暮らせるまち						
			施策		地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう						
			基本事業		消防						
	主管課名		防災安全課			課長名	林 幸男				
	この事務事業の開始時期		昭和23年			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務				
	この事務事業の根拠法令		消防法								
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由					
	市内に設置している消火栓や街頭消火器、防火水槽の維持管理と市内3中学校（三好・北・南）に設置してある飲料水兼用耐震性貯水槽の保守点検等を行う。緊急遮断弁の分解整備は保守点検の結果を踏まえて5～7年ごとに行う。					消火栓や街頭消火器は初期消火に有効で、火災の拡大を防ぐためにも必要であり、機能を維持するためにも消火器薬剤の詰め替えや消火栓用ホースの更新が必要である。 また、地震による断水時に市民に安全な飲料水を供給するため、飲料水兼用耐震性貯水槽の維持管理が必要である。					
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			消防水利、街頭消火器、飲料水兼用耐震性貯水槽の維持管理を実施した。消防水利が不足している地域に消火栓を設置した。							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）						
変 化 内 容	対象に変化がないため、継続して実施				名称		単位				
					① 消火栓設置数			箇所			
				② 街頭消火器設置数			箇所				
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）						
市民					名称		単位				
					① 人口			人			
					②						
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）						
初期消火活動が迅速にできる					名称		単位				
					① 消防水利設置数（40ミリ含む）			箇所			
					②						
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）						
生命と財産を守る					名称		単位				
					① 火災発生件数			件			
					②						
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 箇所			640	642	644	646	648			
	② 箇所			152	152	152	152	152			
(2)の 対象指標	① 人			61,153	61,040	61,570	62,100	62,360			
	②										
(3)の 成果指標	① 箇所			804	805	805	807	807			
	②										
(4)の結果の 成果指標	① 件			20	25	25	25	25			
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	09	項	01	目	02
コスト	年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A	単位	0	0	14,768	19,048	10,044	10,071	8,559			
	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	2,000	2,000	2,000	2,000		
一般財源		千円	0	0	12,768	17,048	8,044	8,071			
人件費 B	千円	0	0	1,768.7	1,718.7	1,718.7	1,718.7	1,718.7			
正職員従事時間×人数	時間×人	0×0	0×0	113×4	113×4	113×4	113×4	113×4			
	正職員以外の人件費	千円	0	250	200	200	200	200			
その他の費用 C	千円	0	0	102	102	102	102	102			
トータルコスト A+B+C	千円	0	0	16,638.7	20,868.7	11,864.7	11,891.7	10,379.7			
単位あたりコスト	① 千円/人	0	0	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2			
	(トータルコスト/(2)の対象指標) ② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	78	消防施設維持事業
-------	-----	----	----------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	消防水利は市で管理するものであり、安全安心なまちづくりのため、この事業は必要である。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	その理由	水利がない地区については、常備消防と連携し、消火活動に支障がないよう水利を設置していく必要がある。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	目的を見直す必要はない。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	市内を調査し、消火活動に支障がないように水利を設置していく必要がある。	
	目的達成状況	内容	概ね達成している。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 消防水利を所管するのは市町村である。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	事業の統廃合により効率化を図ることはできない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容	事業費を削減すると消防力の低下につながるため、事業費は削減できない。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	全ての市民が受益者になり得るため、直接的な受益者はなし。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	消火栓が整備されていない地域がある。	対応策	必要な地域から順番に整備していく。
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	消防水利、街頭消火器などの消防施設の維持管理を実施した。	変更・追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 市内の消火設備の充足率を高めるため、消火栓が設置できるような口径の広い配管にってもらうよう関係機関に働きかける。 また、突発的な消火栓、防火水槽の撤去の要望があった場合に備えて緊急工事用の予算を確保しておく必要がある。 防火水槽の敷地が民地のところがあるため、考え方を整理する必要がある。			
コストの方向性	↓ 減少				
成果の方向性	→ 維持				

# 令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名	No.	79	消防施設整備事業							
	この事務事業 の位置	政策	安全で安心して暮らせるまち								
		施策	地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう								
		基本事業	消防								
	主管課名	防災安全課			課長名	林 幸男					
	この事務事業の開始時期	昭和23年			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令	消防組織法									
	事業の概要	現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由									
	市内の消防施設を整備し、火災及び災害のないまちづくりを推進する。 ・消防団の分団詰所の新築、修繕 ・尾三消防本部みよし消防署及び南出張所の用地費			消防組織法の施行により、昭和24年から非常備消防団を整備し、常備消防である尾三消防組合を2市1町で整備した。 現在、みよし市消防団の13分団と尾三消防本部みよし消防署及び南出張所の2箇所に消防設備を整備し、市内の火災、水防、災害の対策に取り組んでいる。 みよし市の消防力を維持するためにも分団詰所の維持と消防署用地の確保は必要である。							
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			尾三消防本部みよし消防署及び南出張所用地の賃借料の支払をした。みよし市消防団詰所の修繕の実施した。							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	対象に変化がないため、継続して実施			名称		単位					
				① 消防団詰所数			箇所				
				② 常備消防市内署所数			箇所				
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
消防団、常備消防（尾三消防本部）				名称		単位					
				① 消防団詰所・市内署所数			箇所				
				②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
消防活動の拠点の確保				名称		単位					
				① 詰所修繕箇所			箇所				
				②							
結果(上位基本事業の意図)				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
生命と財産を守る				名称		単位					
				① 実団員数			人				
				② 火災件数			件				
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 箇所			13	13	13	13	13			
	② 箇所			2	2	2	2	2			
(2)の 対象指標	① 箇所			15	15	15	15	15			
	②										
(3)の 成果指標	① 箇所			5	3	3	3	3			
	②										
(4)の結果の 成果指標	① 人			329	330	330	330	330			
	② 件			20	25	25	25	25			
予算費目	会計	01 一般会計				款	09	項	01	目	02
コスト	年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A	単位	0	0	7,681	6,872	31,531	3,031	3,031			
	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	2,000	2,000	2,000	2,000		
		一般財源	千円	0	0	5,681	4,872	29,531	1,031	1,031	
人件費 B	千円	0	0	1,594	1,444	1,444	1,444	1,444			
正職員従事時間×人数	時間×人	0×0	0×0	100×4	100×4	100×4	100×4	100×4			
	正職員以外の人件費	千円	0	0	250	100	100	100			
その他の費用 C	千円	0	0	50	41	41	41	41			
トータルコスト A+B+C	千円	0	0	9,325	8,357	33,016	4,516	4,516			
単位あたりコスト	① 千円/箇所	0	0	621.7	557.1	2,201.1	301.1	301.1			
(トータルコスト/②)の対象指標	② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	79	消防施設整備事業
-------	-----	----	----------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	経年劣化した詰所の修繕、常備消防の活動拠点の確保など、市の安全安心のために十分成果は得られている。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	対象を見直す必要はない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	目的を見直す必要はない。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	計画的に修繕を行っているため、成果指標を向上させることはできない。	
	目的達成状況	内容	達成している。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 消防団は市の組織である。	
効 率 性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	統廃合はそぐわない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	事業費を削減することは、消防力の低下につながるため削減できない。	
公 平 性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	直接的な受益者はなし。

3 改 革 改 善 案 A C T I O N	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	高嶺分団詰所は公民館の建物内にあるため、待機場所がない。	対応策	高嶺分団詰所を新築する。
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	消防署用地の賃借料を支払った。詰所の修繕を実施した。	変 更 追 加	高嶺分団詰所を新築する。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 消防団詰所について計画的に改修工事を進める。 高嶺分団詰所を新築する。  三好丘において新分団が設立された場合には新規に詰所を建設する。			
コストの方向性		↑ 増加			
成果の方向性		→ 維持			